

2008年度 第1回 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP合同分科会
MAHASRI小委員会 議事録

日時 2008年5月30日 15:30-17:00

場所：幕張メッセ国際会議場 202号室

出席者(敬称略・順不同)：松本、樋口、林、石川、大楽、杉本、里村、鳥谷、鼎、深見、
浅沼、増田、山中

オブザーバ：市野、金森(書記)

<議題>

- 1) 前回(2007年8月20日)以降のMAHASRI及びAMYに関連した活動報告
- 2) MAHASRI、AMYに関連した観測計画の概要
- 3) MAHASRI、AMYに関連した今後の関連行事の紹介
- 4) その他

1) 前回(2007年8月20日)以降のMAHASRI及びAMYに関連した活動報告

(松本) 主要な会議について報告。

- ・ 2007.9.3-7: The 2ndAMY Workshop, CEOP, International Monsoon Studies (IMS) meeting at Bali, Indonesia
- ・ 2007.11.19: International Implementation Workshop of the East Asian Monsoon Field Experiment (EAMEX) at Chung-Li, Taiwan
- ・ 2007.12.17-18: Japan-Taiwan Joint Workshop for the EAMEX and MAHASRI at Hakone, Japan
- ・ 2007.12.18: MAHASRI 国内研究集会 箱根
- ・ 2008.1.26-27: The 3rd AMY Workshop at Yokohama, Japan: Science Plan の骨格の確定, Implementation Plan, 集中観測について議論
- ・ 2008.2.4-8: The 20th GEWEX-SSC at Buenos Aires, Argentina 松本は欠席
- ・ 2008.2.26-27: International Seminar on Climate Variability, Change and Extreme Weather Events at KL, Malaysia
- ・ 2008.2.26: 気象庁第73回気候問題懇談会で「モンスーンアジア水文気候研究計画とアジアモンスーン観測年」発表(松本)。
- ・ 2008.3.31-4.: WCRP-ISC at Arcachon, France
- ・ 2008.4.20-25, 2008: MAIRS Anthropogenetic Effect on Asian Monsoon at Nanjing, China

(増田) 2月のマレーシアでの会議について補足。国立マレーシア大学・マレーシア気象局・UNESCO Humid Tropics center・名古屋大学 HyARC の共催で2007年1月のマレーシアにおける大雨をテーマとしたワークショップを開催。国立マレーシア大学の FredolinTangang らが

中心となって企画し名大の安成ほかが支援。気候変動-影響評価に関するセッションなど、大雨以外についても広くセッションを開催。増田はデータマネージメント、DIAS 等を紹介。テーブルディスカッションでは National Oceanography Directorate からの業務紹介があり、また、タイの START から出席者があり、貴重な情報交換ができた。

(松本) マレーシアの Prof. Tangang(3月3日:京都、松本・安成・里村が参加)、Prof. Azizan (3月14日:東京、松本・増田が参加)とは日本でも会合。その中で、今年計画されている、マレーシアの観測に日本からも観測に来てほしいとの提案を受けた。これまでの東南アジア諸国との関係とは違った形でのアプローチが考えられる。また、予算が東南アジア各国の気象局や気象学・気候学についてきており、それをうまく使っていくことを考えていく必要がある。

2) MAHASRI、AMY に関連した観測計画の概要

(松本) 参加プロジェクトのいくつかの IOP (4-9月) をまとめて AMY の SOP (4/20-6/30、8/1-9/30) とすることとなった。参加プロジェクトを統合するような形で AMY の全域の時空間分布の絵を作成する必要がある。

3) MAHASRI、AMY に関連した今後の関連行事の紹介

- 2008.6.16-20 : AOGS at Busan, Korea AMY Session 開催。別会場で The 4th AMY Workshop を半日開催。
- 2008.9.22-24 : EAMEX/MAHASRI WS at Chung-Li, Taiwan
- 2008.10.20-24 : IMW-IV at Beijing, China The 5th AMY Workshop を半日開催予定(10/24 午後を予定、一部は CLIVAR/AMMP Panel Meeting と合同)。
- 2008.11.19-21 : 気象学会秋季大会 at 仙台。スペシャルセッション「GAME から MAHASRI へ - モンスーン研究の進展と今後 -」予稿集締め切り : 8月19日
- 2009.3.2-4 : The 2nd Vietnam-Japan MAHASRI Workshop at Danang, Vietnam (Planned)
- 2009.7.19-29 : IAMAS Montreal, Canada
- 2009.9.24-28 : The 6th International Scientific Conference on the Global Energy and Water Cycle Experiment (GEWEX) and 2nd iLEAPS Science Conference, at Melbourne, Australia

4) その他

(大楽) RMIP のプロセススタディの検証データとして何があるか？

(松本) AMY のデータは1年後には AMY コミュニティーには公開されるのでそれが使える。

(大楽) 10年くらいの長期間ものは？要素は気温、地温、最高、最低気温、降水量。10年、20年、30年。GCM、エアロゾル、プロセススタディについてはない。

(松本) 1997-2002 は GAME で公開している。インドは IMD の降水量の 1 度グリッドデータが作られている。2003 年以降のデータについてはデータポリシーの合意、データ整理が滞っている。

(大楽) 地点データの情報は誰に相談すればいいのか？

(松本) 原則として増田委員。

(増田) AMY も含めて、他国にデータ催促する良い言葉が見つからない。データについては公開、再配布などのデータポリシーをどうするか。マレーシアでは GTS のデータはいいが、その他は国の決まりで難しい。データを共有することのメリットをアピールすればいいのだが。

(松本) データポリシーについては原則として原案で行くことにする。

(増田) ただしコマーシャルについては公に書かないことにする。なお、近隣のデータを使えば研究、予報などに有効だと思っているが、それ以上のメリットをなかなか考えつかない。また国によって事情が大きく異なり、個別の交渉に依存する面がある。誰が窓口（交渉）役になるのかも含めて、決める必要がある。

(松本) 機会があれば GAME 時みたいに各国の人が参加し、データマネジメントについての会議が持てると良いのだが、それができない場合は私が個別に交渉していくしかないだろう。

(松本) AMY Implementation Plan の作成が必要だがどうやったら良いか？

(山中) 表だけができていれば良いのではないか。GAME の時と違って予算がない。例を示して、各国 or 各グループに提出してもらうしかないだろう。

(増田) 得られるデータのカタログはほしい。観測予定地点の緯度経度の情報があれば増田が作る。ただし、それらの情報が増田に届く手配は別にしてほしい。

(松本) AMY のメーリングリストが必要

(樋口) AMY 国際事務局（中国 IAP, Li Jianping さん）にメーリングリスト作成を依頼する。難しければ日本で作っても良い。情報の流れの形を作ることが必要。AMY の国際版、国内版、MAHASRI の国内版、国際版、WG のものなど。MAHASRI の Web などを利用して情報公開をもっとすべき。例えば議事録なども積極的に公開していく必要がある。

(松本) JAXA の松浦直人氏より、職場の人事異動により委員の継続が困難になったこと、後任の選任も困難なことの申し出があり、当面は JAXA からの委員は欠員とする旨を承諾することとした。